



明治神宮大会出場をかけた九州選手権1回戦(対九産大)で、チームは逆転勝ち。エース・屋比久(写真右、3年・必由館)が3失点完投し、この秋は金丸(2年・大分西、左)との左腕コンビがチーム躍進の原動力となった

## 近大産業理工学部「九州地区大学野球連盟」

# 集団生活で育まれる「社会人」への準備

今秋は明治神宮大会出場「1枠」をかけた九州選手権で初戦突破。2009年の創部以来、全国舞台へ最も近づいた。成果を上げたのは技術向上だけではなく、野球以前の取り組みを正面から向き合ったからにはかならない。「全寮制で培われる人間性」。快進撃も決して、偶然ではなかった。

取材文：岡本朋祐 写真：湯浅芳昭

### TEAM CLOSE UP 創部8年で醸成された 野球を通じての人材育成



創部前年(2008年)の「準備委員会」から携わってきた肘井監督は、野球部の歴史を一つひとつ積み上げてきた。指揮官だけではなく、学生支援課(就職係)の顔もあり日々多忙だ

## 社会貢献活動による 地域との密接な関係

有能な人間ほど、時間の使い方がうまい。平日は朝から夕方まで授業がギッシリ組み込まれており、全体練習開始は17時過ぎ。毎年、クラブ推薦により入学した1学年20人の野球部員は、経営ビジネス学科に在籍する。野球部、サッカー部、吹奏楽部は「強化指定」だが、特別扱いは一切ない。肘井利一監督は言う。「大学の難易度も上がってきたので、真面目にやれば単位が取れる、という時代でもありません。あくまで評価するのは教授です。野球部だから

優遇して欲しい、と言ったことはありません。どちらかと言えば、一般学生と同じように扱って欲しい」と

部員がグラウンドに集合すると、すでに日は傾いており、ボールが見えるうちに、フリー打撃を慌たたく行う。日没後、照明をつけてからは走者を置いた守備練習へと移行。決して明るいとは言えないため、肘井監督が打つノックもやや弱め。簡単な打球を丁寧に捕球するほうが、応用につながる。1プレー1プレー、実戦を想定した緊張感がグラウンドを漂う。2時から夕食が控えているため、実質2時間ほどで寮へ引き揚

に置き換えれば、相手を大事に思うことで、チームの勝利、ひいては、達成感として自分に返ってくる」。時間の有効活用。肘井監督はこのスタイルを8年間信じ貫き2016年秋、一つの成果として結実する。

## 創部前年に 「準備委員会」が設立

近畿大学産業理工学部(福岡県飯塚市)は1966年、近大第一工学部として設立され、85年の九州工学部を経て、2004年に現校名に改組。生物環境化学科、電気電子工学科、建築・デザイン学科、情報学科、経営ビジネス学科(野球部員在籍)の5学科と、大学院1研究科で約1600人が学ぶ。また、敷地内には附属福岡高校が併設されている。近畿大学の本部がある大阪府東大阪市の近大野球部は全日本大学選手権4度優勝の名門で、広島県呉市の近大工学部野球部も、全国大会の常連校だ。近大産業理工学部野球部は09年に創部。誕生の背景を肘井監督は「理系中心の学部で、研究者が多く、キャンパスを明るくしたいという方針で創部されました」と語る。

肘井監督は福岡の強豪・柳川高出身で、1987年の甲子園で春夏連覇を遂げたPL学園高と同世代だ。2年秋以降は四番・左翼も、3年夏は真大会決勝(対東筑高)で敗退し、甲子園とは縁がなかった。九州国際大では4年時に主将を務め、大学選手権準決勝では斎藤隆(元楽天ほか)、金本知憲(現阪神監督)らを擁する東北福祉大に敗れた。卒業後は大仙(愛知県豊橋市)で休部する99年9月まで7年半プレーした。同



今秋は67人で戦った。出身内訳は九州8割、近畿1割、中国1割で、「人間的に魅力のある学生を送ってくれる」と、肘井監督は各高校野球指導者へ、感謝の言葉を口にする

げる。最後は全員で、丹念にグラウンド整備。動きに一切のムダがない。練習不足を補っていくのは、朝6時過ぎからの強化練習。ただ、秋のシーズン終了後は、食堂での点呼を終えると、朝6時45分からの35分間を「朝読書」に充てている。「この時期、技術を上げていくことよりも優先すべきは、心の栄養を入れていくべきだと考えました。伝記、経験談が書かれた書物を読んで、人として醸成していく」(肘井監督) 全部員67人が同じ屋根の下で暮らす。大学から徒歩圏内の1ルームマンション(8階)が野球部の専用合宿所だ。関係者から一部屋1人を勧められたこともあったが、肘井監督は一部屋2人にこだわった。4年生と2年生、3年生と1年生で組む。「みんなで喜びと苦勞を共有する集団生活を体験することが、人間としての幅を広げる。勉強と野球の2本柱。社会へ出る準備期間としての4年間として欲しい」と、入学前に保護者の方には説明しています。22時には点呼を行い、24時には消灯する。外出と言えば、グラウンド横にある室内練習場でのウエート・トレーニング。原則的に合宿所と学校の往復が日常だ。対外的には、社会貢献活動を積極的に行っている。地元の一飯塚市歩こう会(4月)には3年前から継続してサポートしており少年野球、中学野球の審判員を担い、野球教室も行っている。こうした取り組みで地域と密接な関係となり、野球部を応援してくれる。「社会とつながることで、自身の成長へと紐づけられるか。相手善し、自分善し、皆善しの「三方善し」を大切にしています。キャッチボール

# 近大発の パチもんでんねん。

はじめまして、にゅるっと失礼します。  
わて、近大生まれのうなぎのパチもん。「うなぎ味のナマス」ですねん。  
今、ニホンウナギが絶滅しかかるとるんで、わてが開発されたんですわ。  
結構評判よろしいようで、ぼちぼち世の中に広まっていくみたいでっせ。

そういえば、近大がクロマグロの完全養殖に挑んだ時も、「しょせん、養殖」って、パチもん扱いやったそうですわ。  
でも今や、天然より美味いんちゃうの！ともっばらの評判。  
パチもんって言われてたんが、いつかホンマもんを超えて、世界を救う。  
これぞ、「近大の実学精神」から生まれた発想ですわ。

“固定概念”をぶっ壊し続ける近大も、  
旧態依然とした大学界から見たらパチもん？的な存在かもしれまへん。  
せやけど、今、ものすごい勢いで伸びてはりますなあ。  
この勢いでホンマ変えまっせ、古くさい大学界なんて。

パチもん、なめとったらあきまへんで。

## 近大で学ぶ、福岡で学ぶ。

文系

### 経営ビジネス学科

多様な角度から実践的経営を学ぶ！  
マネジメントのプロを育成！



### 電気電子工学科

エレクトロニクスに精通し、産業界に  
広く貢献できる技術者を育成！



### 生物環境化学科

化学とバイオで未来に挑戦！  
次代を築くスペシャリストを育成！



### 建築・デザイン学科

多彩な視点で社会に貢献する、  
プロの建築家・デザイナーを育成！



### 情報学科

高度情報化社会を支える  
情報のエキスパートを育成！



TOPICS  
2016年3月卒業生 就職率 **95.5%**  
※就職率=就職者339人÷(全卒業生379人-大学院進学者24人)

10年で難易度が大きく上昇した学部 全国 **1位**  
3年間就職率ランキング 理工系学部 全国 **1位**

\* 週刊東洋経済 臨時増刊「本当に強い大学2016」より

## 近畿大学 産業理工学部

〒820-8555 福岡県塚原市柏の森11-6 TEL(0948)22-5655 近大 福岡キャンパス

- 東大阪キャンパス 法学部 / 経済学部 / 経営学部 / 理工学部 / 建築学部 / 薬学部 / 文芸学部 / 総合社会学部 / 国際学部 / 短期大学部
- 奈良キャンパス 農学部
- 大阪狭山キャンパス 医学部
- 和歌山キャンパス 生物理工学部
- 広島キャンパス 工学部

社を退職後は福岡へ戻り、臨時教員(社会科)として5年間、中学校の教壇に立った。2005年に近大福岡高に赴任すると、野球部監督に就任。06年夏には北部大会を勝ち抜き、県大会出場を果たしている。熱血指導が評価され08年、近大産業理工学部野球部の「準備委員会」の一員に抜てきされた。その献身的な働きぶ

りにより、初代監督として率いる立場となった。「何もないところから作り上げていく、ワクワク感がありました」好奇心、向上心旺盛の指揮官は、まずは選手集めに奔走する。だが、肘井監督の性格上、高校生指導を中途半端にはできない。本格的に動き出したのは、08年秋の県大会で敗退

実直にプレーすることで  
広がる可能性  
05年に神宮大会を制した九産大か

「最後まであきらめなければ、何が起ころうか分からないのが野球。実直にプレーすることで、可能性が広がる。野球を追求すると、人間的に変わる。人生も同じだと思います」(肘井監督)



TEAM CLOSE UP  
創部8年で醸成された  
野球を通じての人材育成

5限の授業を終えて全体練習開始は17時過ぎ。20時からは夕食が控えているため実質、2時間ほどしか汗を流せない。だが、一球一打へかける集中力が実践へとつながっていく

09年春に九州地区大学野球連盟に加盟し、同秋から九州地区トーナメントに出場し、1年生のみで2勝を挙げ8強進出。10年秋から7校による新福岡リーグが始まり、西日本工大、久留米工大との3強を形成し、トーナメントに出場できる上位2校に安定して入った。16年春からは北部ブロック、南部ブロックに再編。近大産業理工学部は北部一部リーグに在籍し、今秋は日本文理大に次ぎ2位。南部2位・第一工大との第3代表決定戦を制し、昨年に続く九州選手権(九州六三校、福岡六三校、九州地区3校)による計9チームから九産大との1回戦で逆転勝利(4対3)、西南学院大との2回戦で惜敗(2対6)も、過去最高の成績を残した。

「金星」を、地元紙は大きく報じた。肘井監督は「神宮で勝てるチームを目指してきた」と冷静も、試合内容に一定の満足度を得た。橋本一輝主将(3年・波佐尾)は言う。「最後まで下を向かない姿勢が、1点を追う7回の逆転につながりました」。14年から夏に東京遠征を行っているが、その成果が出たという。「JR東日本からは一人ひとり、高い技術がありながらも、つなぎを大切にできる姿勢を学び、創部大からはグラウンド整備の大切さを教えていただいた。福岡へ戻ってからはもう一度、あいさつと掃除を徹底しました」(橋本主将)

「最後までもう一回、力となる。起ころうか分からないのが野球。実直にプレーすることで、可能性が広がる。野球を追求すると、人間的に変わる。人生も同じだと思います」(橋本主将)

「最後まであきらめなければ、何が起ころうか分からないのが野球。実直にプレーすることで、可能性が広がる。野球を追求すると、人間的に変わる。人生も同じだと思います」(肘井監督)

「最後まであきらめなければ、何が起ころうか分からないのが野球。実直にプレーすることで、可能性が広がる。野球を追求すると、人間的に変わる。人生も同じだと思います」(橋本主将)

「最後まであきらめなければ、何が起ころうか分からないのが野球。実直にプレーすることで、可能性が広がる。野球を追求すると、人間的に変わる。人生も同じだと思います」(橋本主将)

井戸コーチ(右端)は野球部1期生。卒業後、母校に奉職(学生支援課)し、肘井監督を支える。寮監も兼ね、スタッフとのコミュニケーションも欠かせない。左から山本マネージャー(3年・泉尾工)、橋本主将(3年・波佐尾)、大森寮長(3年・必由館)、重久マネージャー(1年・広陵)



「野球を追求すると、人間的に変われる。人生も同じだと思います」(肘井利一監督)

「金星」を、地元紙は大きく報じた。肘井監督は「神宮で勝てるチームを目指してきた」と冷静も、試合内容に一定の満足度を得た。橋本一輝主将(3年・波佐尾)は言う。「最後まで下を向かない姿勢が、1点を追う7回の逆転につながりました」。14年から夏に東京遠征を行っているが、その成果が出たという。「JR東日本からは一人ひとり、高い技術がありながらも、つなぎを大切にできる姿勢を学び、創部大からはグラウンド整備の大切さを教えていただいた。福岡へ戻ってからはもう一度、あいさつと掃除を徹底しました」(橋本主将)